

留学生の視点から見た「女性について」
～奈良女子大学 日本語授業 発表会 参加報告～

奈良女子大学 日本語授業 発表会「留学生の視点から見た『女性について』」が2026年2月5日10時40分より奈良カレッジズ交流テラスにおいて開催された。参加者は、留学生（日本語上級クラス受講生10名、教員1名、大学女性協会会員6名、奈良市国際女性交流協会会員8名、その他1名（合計26名）であった。

発表テーマと担当留学生は次の通りである。

A グループ 「女子教育」のゴール：日本とアジア諸国の違い

陳さん（台湾）、アイリーンさん（マレーシア）、たまさん（ベトナム）、
周さん（中国）：帰国中のため、陳さんが代わりに報告

B グループ 女性の社会進出とガラス天井

ゆいさん（台湾）、えりさん（韓国）、ヒタさん（インドネシア）、かねぎさん（ベトナム）

C グループ 最近話題になっている中国、マレーシア、韓国、ポーランドのジェンダー問題

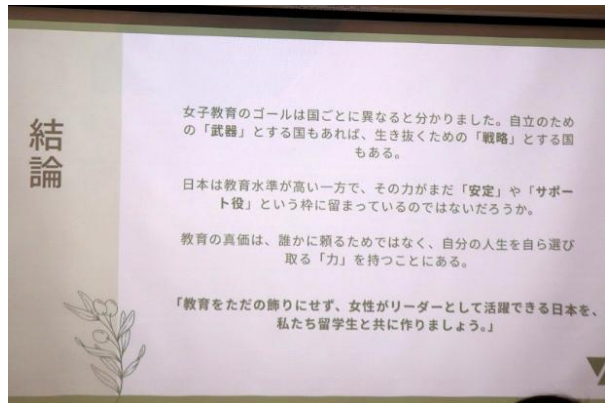
高さん（中国）、アイコさん（マレーシア）、ウンジョンさん（韓国）、
ユリアさん（ポーランド）

◆A グループ 「女子教育」のゴール：日本とアジア諸国の違い

A グループの発表では、国によって女性が学ぶ目的の違いが見られることが指摘された。日本では多くの女子学生にとって、大学進学が「安定」を求めることであるのに対し、台湾の女性はどんな環境の変化があっても、自立して自分の足で立ち続ける武器を持つために学ぶ。ベトナムの女性においては、教育は家族や配偶者への依存から抜けだし、結婚・キャリア・自分の人生について自分で決めるための重要な道であり、学ぶことは自立と将来リーダーとしての役割を担う分野の戦略的選択でもあると考える。共働きが一般的なマレーシアでは、教育はいつ何があっても自分と家族を養う力を手に入れる武器である。特に多民族国家という競争の激しい社会環境下で、高学歴による専門職への切符を得ることは、自分の価値を証明して社会的地位を確立する不可欠なプロセスであり、戦略的ステップと位置づけて学ぶ。

このような大学で学ぶ意識の違いは、卒業後、女性の社会的立場を示す数値に現れ、マレーシアやベトナムなどでは女性がリーダーなのあたり前なのに対して、日本の女性管理職はわずか11%にすぎない。マレーシアでは大学入学率が男性37%に対し女性56%と大きく上回り、専門的スキルを持つ女性層が厚くなっている。また「女性が自立して家族を支える」ことが強さの象徴とされ、2030年までに労働参加者60%をめざす国家目標がこれを後押ししている。また「クォーター制」を導入して、上場企業取締役に「30%以上の女性」登用を義務化し、制度としてリーダーへの道が作られている。ベトナム・台湾でも同様な現象が見受けられ、ベトナムでは女子学生比率が54%を占め、女性国会議員30%、中堅企業の上級管理職では女性が37%に達し、政治・ビジネス界で主要国を上回るリーダーシップを発揮している。台湾では女性の大学院進学率がここ10年で急増し、女性は51%と男性37%を上回っている。圧倒的な専門性があるからこそ企業からも「代わりのいないリーダー」候補として期待され、中小企業の経営者では女性が36%を占め、特に製造業ではリーダーの70%以上が女性で、売り上げ利益率が市場平均を上回る高いパフォーマンスを見せている。

以上のように、高い教育を受けた女性が結婚や出産を機にキャリアを諦めなくてもすむ各国における女性の高い登用事例以外に、子育ての負担を母親一人に頼らない仕組みにも共通点が見受けられる。ベトナムや台湾では祖父母の全面的なバックアップにより出産後のキャリア中断の壁がなくなり、マレーシアでは安価なナニー（外国人ヘルパー）雇用の文化が浸透しているため、この制度を利用して家庭内の負担を外部委託化することで、仕事に集中できる環境を整えている。日本は教育水準が高い一方で、その力がまだ安定やサポート役という枠にとどまっているのではないか。高い教育を受けた女性達が結婚や出産を機にキャリアを諦めなくてもすむヒントをアジアの国々の事例に探りながら、日本の女性が社会のリーダーとして活躍できる日本を私たち留学生と共に作っていきたくて結んだ。



◆B グループ 女性の社会進出とガラス天井

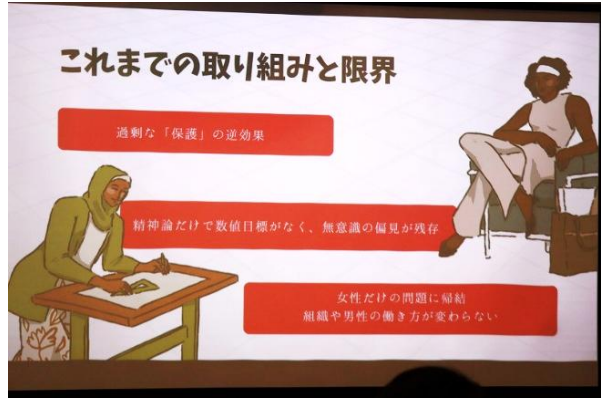
B グループの発表では、まず「女性の社会進出」とは何かという定義について、いろいろなウェブサイト調べた内容が紹介された。「社会で女性が活躍する機会が増えていくこと（協和キリン）」、「『女性活躍推進』とは自らの意思によって職業生活を営み、または営もうとする女性とその個性を発揮して職業生活において活躍すること等を推進すること（厚生労働省）」、「『ガラスの天井』とは組織内で昇進に値する人材が性別や人種などを理由に不当に低い地位に据え置かれることを意味する言葉である（朝日新聞）」。

諸外国の女性役員や女性管理職の割合を見ると、欧米諸国の30~45%に対して、中国・日本・韓国などは15%以下と低く、ガラスの天井状態にあると指摘された。その要因には「女性は家庭を優先すべき」「リーダーには男性の方が向いている」などの社会的・文化的固定概念や出産・育児とキャリアの両立の難しさ、組織・制度上の問題などが考えられる。これらの要因を踏まえた解決策として、企業側としては企業文化や社内制度を見直し、クォーター制・配額制などの数値目標を設定すると共に、評価基準を再検討すること、政府側では男性の育休を義務化・法整備とインセンティブ導入などを検討するなどのほか、個人の意識に潜む「リーダーは男性、サポートは女性」という固定概念の打破、性別ではなく個人の能力と意欲が尊重される文化を育むなどのジェンダー教育の推進が考えられる。

こうした問題を解決し、成功したよい例はノルウェーと資生堂である。ノルウェーでは2003年に取締役の40%以上を女性にするというクォーター制を義務化し、達成できない場合は会社解散の可能性もありうるとした。その結果、導入前には6.8%であった女性取締役率が導入後40%以上に達し、2024年には対象が民間の中堅企業約2万社にまで拡大する結果に至っている。資生堂は2030年に男女管理職比率50対50を目指す目標を決め、2025年時点で女性比54.5%に達し

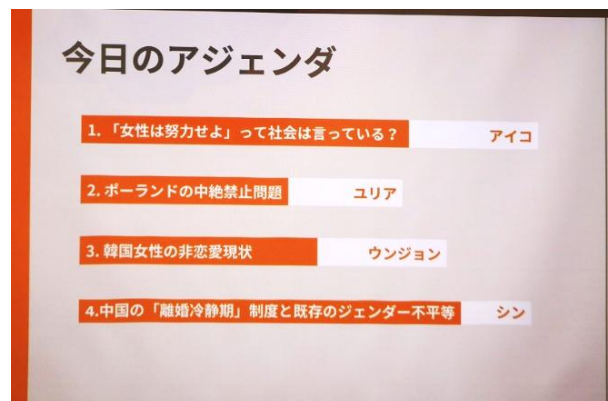
た。また育児支援を強化し、自社保育所の運営・シッターサービス導入で小学生にもサポートが及ぶ。またリーダー育成の仕組みが強化され、女性リーダー育成塾に参加する女性が多いという。

結論としてガラスの天井を壊すにはノルウェーのような『強力な制度』と資生堂のような『意識革命』の両輪が必要である。制度と意識が揃ってこそ、性別に関係なく誰もが活躍できる社会が実現する。私たち世代がこの価値観を当たり前ものとして広めて行くことこそがガラスの天井を消し去る本当の壁になると信じる。



◆Cグループ 最近話題になっている中国、マレーシア、韓国、ポーランドのジェンダー問題

Cグループの発表では、社会において「男女間の不平等」「社会格差」「女性への偏見」「性暴力」「家庭暴力」などはしばしば女性に関わる問題と呼ばれていることの指摘があった。このことは、「女性の問題＝女性のせい」のように聞こえないだろうか。女性の問題は決して女性だけに関わる問題ではなく、男性も含めた社会全体の問題、つまり「ジェンダー問題」であると述べられた。その後、マレーシアのアイコさんから「女性は努力せよって社会は言っている?」、ポーランドのユリアさんから「ポーランドの中絶禁止問題」、中国のシンさんから「中国の離婚冷静期制度と既存のジェンダー不平等」とのテーマで自国における最近のホットな話題提供があった。



いずれのグループの発表も熱のこもったものであった。各グループの発表後には質疑応答があり、予定されていた時間が押すほどの充実した会となった。

発表会終了後、留学生と参加者を交えた5つのグループに分かれて昼食会が催され、和やかな歓談が続いた。

(文責：志垣)

ランチを食べながら懇談



留学生の視点から見た「女性について」アンケート まとめ

(アンケート回答者数 8名)

1. 年代 60代 1名 70歳以上 7名
2. 大学女性協会会員ですか? 会員 3名 その他 5名
3. 今日の内容はいかがでしたか? とてもよかった 7名 よかった 1名
4. 上の選択肢を選んだ理由はどんなことですか?
 - * 学生たちの意欲と日本語の上手さ(努力)に心が動かされた。研究の内容については、今少し考察を深めてほしいところもあったが、日本を改めて考える契機になった。
 - * どの留学生さんも、考え方や発表がすばらしく、とても楽しむこと、勉強になることが多くて、とても良かったです。ありがとうございます一言です。
 - * 若い方がこれからの世界を住み良く変えていってくれそうで嬉しかったです。
 - * ジェンダーに関心あり、参加しました。
 - * わかりやすい内容で、私が教えてもらうことが多々ありました。
 - * 一生けんめい取り組まれていたこと。パワーポイントの作り方もよく考えておられた。興味深い内容でよかった。知らなかったことも知れてよかった。
 - * テーマが「女性について」というちょっと漠然としたものであったにもかかわらず、どのグループも、それぞれの焦点を決め、いろんな文献にもあたって、まとめられていたところが素晴らしいと思いました。
5. 留学生のみなさんにメッセージをお願いします。
 - * 日本をさらに良く深く知り、感じて、将来も日本(日本人)との交流を充実し、人生を豊かにしていきたい。
 - * すばらしい発表に感動しました。日本でしっかり学んで、それぞれの国でご活躍ください。
 - * ジェンダー平等を望みながら、子を産み育てる女性として、世界の平和を築いてほしいです。
 - * 今のジェンダーのテーマをあれだけ深く、自国のジェンダー問題を取り上げ、わかり易く話していただきました。こんな女性たちが社会のリーダーになっていく事で大きく国際社会全体が男女共同参画社会の実現となっていく事につながるのだと思えました。ありがとうございます。
 - * これからもべ強頑張ってくださいね。
 - * 奈良での留学生生活を有意義に過ごしてください。ポーランド、台湾の方とのお話楽しいでした。日本語がお上手なのにびっくりです。
 - * ここから、平和な社会につながると思います。仲良く、楽しく、これからも勉学に励んでください。
 - * 今回の発表では、しっかりとした問題意識をもち、その問題を解決するにはどうすればよいかも考えておられたところがとても良かったと思います。これからも継続していろいろなことに関心をもち、考えてほしいと思います。同じものを見ていても、感じ方や考え方はいろいろだと思います。留学生同士、また、まわりの日本の学生たちともいろんな話をすることで、多様なものの見方や考え方に触れ、広い視野を持って、これからの社会で活躍していただくことを期待しています。